

五分館だより

第18号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日

H4.9.1現在
戸数 95戸
人口 422人

松茸観光シンボル アーケード完成!!

黒谷線と広域農道の交差点に茸観光のアーケード式看板が完成しました。この看板も堀越のシンボルとして活かしていきたいものである。



区民の皆様の御協力と関係各位の努力により松茸観光の事業も年々其の成果が挙って来たことは誠に同慶に堪えません。そこで今年は二十年目の一つの節目に当りますので何か後世に残るものをお願い黒谷線に看

板を建てたらと考え昨年十二月に区委員会へ相談したところ全員の賛成は勿論アーチ式ものがどうかとの意見も出てアーチ式で進めることに決定致しました。

私としては何とか補助事業の対象にしたいと考えて村へ相談した処、県は既に平成四年度の予算編成が終了したが松村村長の政治力により何とか見透が付いたので一月の区定期総会に予算を附して建設案を上程可決していただいたことは御承知の通りです。其の後看板の内容等委員会にて研究に入り又村長と交渉の結

果、村に於て建設することとなり六月の定例村議会に計り決定しました。

事業主体 豊丘村
見積金額 三十五万円
県補助金 九十五万円
村費 一十五万円
区負担金 一六五万円
請負業者 高森町吉田(有)あるふあ

お陰様で立派な看板が出来上がり、今後区民一丸となって松茸観光が増々発展し三十年、四十年の節目を迎え堀越地区の山より松茸が発生する限り長く続くことを期待致します。

区長 久保田芳美

堀越松茸観光二十周年

本年も松茸観光のオープンが間近になり、それぞれの委員会準備が行なわれています。幾多の問題をかかえる中で今年には二十年を迎え、記念セレモニーが予定されています。

厳しい残暑から秋の気配となり、茸の発生が待ち遠しいシーズンとなりました。毎年観光事業には多大な御協力を頂き感謝申し上げます。

松茸観光は、昭和四十八年にスタートし、本年は二十周年になります。

秋、数多い山の楽しみの中でも、茸の魅力は大きく、そんな野生味あふれる、特産のきのこに着眼し、過疎化防止と区民全体が望む美しい自然と、ともに新時代の堀越区づくりを努力された諸先輩、区民総参加の成果は、潤いのある区民生活



の実現、活性化に大きく貢献しています。歴史は移動と定着の時代を繰り返して、現在の金と、技術、変化を求めて人々が都会へ移動している時代から、近い将来地域に根差した新しい定着の時代に移る。その活動のより所が農山村となり、都会からの逆流現象も進行してくるでしょう。

区長提案で、松村村長の特別配慮により、堀越案内図付きアーチを黒谷線と、広域農道の接点に設置しましたが、イメージアップにも貢献する事大きく、最近の来客者から豊かな自然、道路網の整備、眺望の良い公園、後継者等、羨ましい堀越といわれており、堀越が動いた、堀越が変わるといわれました。

二十一世紀にむけて、大きく充実、元気な区政と観光事業の更なる向上を御願ひ申し上げます。

本年の観光事業予定は、十月初旬頃から十月下旬の予定で、松茸観光二十周年



総務委員長 菅沼明人

記念のセレモニー、イベントが予定されております。十月四日午後六時半より、区民総参加で二十周年パーティー、美酒を交わしつつ、島の「アンコさんは」を五、十、二十枚突破、金田正一の実弟とコンビを組み、「幸をつかんぢやおお」で、大ヒットしたティンクルレコードの小宮恵子による、歌謡ショーと、お笑い、人気上昇中のスーパージェルによる、女性二人組のコント漫才をセットし、二十年の歴史を語りあい、楽しい一時を過ごして頂くように計画しています。

末筆で恐縮ですが、前年度までは観光運営を区の委員で構成していましたが、本年度より各部落から二十五名運営委員を選出頂き、観光期間中、七班体制で運営を御願ひすることになりましたので、大変御多忙のシーズンですが、宜しく御協力の程、お願い申し上げます。

黒谷箋

私は、今年初めて公民館役員となり、早や半年になろうとしています。これまでもすでにさまざまな事業に参加し取り組んできましたが、公民館活動も年々多様化してきている中での運営ということが増々難しくなることと思います。「言うことはやすく、行なうことは難し」という言葉がありますが、よいことを行動に移し、実行することはたいへん難しいことですし、自分で実行に移す意志がなければどうしようもないことです。少しでも早く公民館活動に慣れ結果を恐れず、進んで協力できるような頑張りたいと考えています。

ところで先日、ある会合の席で他町村の数多くの方々から、堀越についての印象や感想を聞くことができました。①後継者も多く、リノゴを代表するように農業に熱心に取り組んでいる。②道路がすみずみまで整備されている。③松茸観光にもみられるように区民一体となり区を盛り上げている。その他にも色々結果は、お誉めの言葉ばかりで、私も区民の一人として大変嬉しく思いました。私自身これからも頑張っていきたいと思っています。 田島 亨

熱戦の球技大会!

今年も恒例の部落対抗球技大会が七月二十六日に天神グラウンドで行なわれました。今回は各優勝チームの代表の方に感想をお聞きしました。

ゲートボールの部

松下 幸見

公民館主催部落対抗球技大会(ゲートボール)が本年も行われ、勝敗は時の運と諺にありますが何の間違いか運良く駒沢Aチームが優勝しました。ところが此度優勝チームで一言感想を依頼され思うままに記します。年に一度の球技大会が此の様に盛大に行われ、部落こぞって総参加九〇才余の方から又今年初めて参加

された部落あり、公園に花が咲いた様な賑やかさで年に一回とは云え此の様に多くの皆さんが出席された事は誠に素晴らしいと思います。さてゲートボールも第一

ゲート通過が難関。初心者が一発で通過しても私達の様に長々練習している者が通らない。二浪三浪ならまだ良い方だが最後迄通過せず三〇分経ってしまう。又第一ゲートを通った時はやれやれ一安心と胸をなで下ろす気持は皆同じだと思ふ。又意地悪ゲームとも云われるが自球が生んが為には他球をアウトにせねば是をタツ

チを外せば忽ち勝敗にも関係するあの一球がと悔しがり、あの時タッチすれば、あの時通過すればと何時の試合でもあの一球で試合の流れが変わる。

今年から競技の進行に直接関係ない反則は削除することになり反則適用事項から除くもの、一、打撃方向線をまたぐ打方 一、入場違反 一、指示違反 一、方向指示違反 一、コート修正違反 一、二重放棄と大項目が改正され、今迄の様な窮屈さが緩和され皆が楽しめる競技となりました。毎週二回月曜木曜と朝五時から練習して居りますが、朝の新鮮な空気を胸一杯吸い、又多くの皆さんと語り合いが出来、健康作りには最適と思ひます。今後一人でも多くの参加を希望し共に健康作りをしたいものです

ソフトボールの部

福島 昭治

去る七月二十六日に農休日球技大会が、天神グラウンドで行われた。朝から天気も良く熱戦が繰り広げられた。西部部落では、練習も何日かやって本番に臨みました。一回戦二回戦とコマ

を進め、決勝戦に臨みました。地域内交流、親睦とは言っても、勝った負けたの勝負。ましてや敵、やっぱり熱が入り熱くなりました。

試合が終われば友。和氣あいあいと試合の事など話して、皆で楽しく語り合いとても楽しい思い出深い農休日となりました。西部が優勝出来たのも練習もあります。けれど、皆で一丸となつて試合を行なつたと言

す。末筆乍ら公民館活動に活躍下さる皆さんに感謝と敬意を表します。

インディアカの部

宮下 千代

去る七月二十六日日曜日に、農休日のソフトボール、インディアカ、ゲートボール大会が行なわれた。

当日は、朝早くから開会式が行なわれ、堀越全チームが一丸となつて試合が行なわれた。インディアカは、A・Bの二つのブロックに別れて予選が行なわれた。どの部落もあまり力の差は

なく、中宮チームも二一で勝ったが、なかなかいい試合だった。天神グラウンドは、日かげがないので、みんな日がさをさしたり、タオルやぼうしをかぶったりして暑さをしのいでいました。日よけの場所ができたらしいなと思いました。

予選に勝ちぬき、午後から準決勝と決勝が行なわれ、各チーム共に決勝になるにつれて、男性の人達もいっしょになって応援も試合も盛り上がりました。私達の中宮チームは、準決勝、決勝と勝ちぬき、優勝することができました。ソフトボールは西部、ゲートボールは駒沢がそれぞれ

優勝し、閉会式にはトロフィー・賞状・賞品をもらいました。各部落に参加賞も出て、そのあとは各部落に別れ、それぞれに慰労会が盛大に行なわれた事と思ひます。中宮部落も会所へ集まり、慰労会をしました。暑い中、一日過ごしたあとのビールは格別なものでした。こういう機会に部落みんなでもとまることができ、とてもいい事だと思ひました。でも、このあと二、三日は身体があちこちがいたくて、日頃の運動不足がたたってひきかえ、どうだったでしょうか……。

にぎやかだった

納涼盆踊り大会

恒例になつてゐる八月十五日の盆踊り。公民館の役員の方達が午後の暑い中チャグラを組んだり、色々と準備をしてくれ、七時頃よりあちこちから人が集まり、にぎやかになりました。私も朝から楽しみに待っていた孫達をつれて出掛けました。子供達が一番楽しみにしているのは夜店の品々で、先づ最初に皆券売り場に行き、券を買いました。券を売るお兄さんの「ハイ何萬両」と威勢の良い声に、子

供達も親しみを感ぜ、もう一枚ちょうだいと何枚も券を買ひ、金魚すくい、わなげ、焼とうもろこし、焼きとり、氷水、色々な催し物があり、どこの子供達も皆楽しそうに、はしゃいでいました。花火も子供向けの可愛いので安心して見ておられました。盆踊りも、女の人達はお客さまで忙しい中を、老いも若きも子供達も、皆が踊りの輪に入り、楽しいひとときを過ごしました。が、昨年より踊る人より見

物人の方が多い様にも感じました。それからチャグラをせっかく立てたので、太鼓をたたか、何かあった方が賑やかで良かったのではと思ひました。宝投げは小さい子供達は、大人といっしょに拾うので、何も拾えない子供が大勢見受けられました。公民館、婦人会の役員の皆様のおかげで、大人も子供も楽しい盆踊りの一夜を過ごす事が出来ました。心から感謝の気持ち一杯です。これからも末永くこの行事をつづけて下さいます様、お願い申し上げます。

武田 澄子